



SCB

ニュース&トピックス

No.2025-79

(2025.9.24)

信金中央金庫 地域・中小企業研究所

信用金庫統計担当：西 俊樹

03-5202-7672

s1000790@FacetoFace.ne.jp

信用金庫の資金調達原価率

ー2024年度の資金調達原価率は前期比0.07ポイント上昇の0.84%ー

ポイント

- 2024年度の全国信用金庫の資金調達原価率（（資金調達費用－金銭の信託運用見合費用＋経費）／資金調達勘定計（平残））は、前期比0.07ポイント上昇の0.84%となった。
- 業態別では、信用金庫の資金調達原価率は都市銀行、地方銀行、第二地方銀行を上回って推移している。
- 信用金庫別に、資金調達原価率を2期間で比較（2020年度と2024年度）したところ、上昇金庫が多くなっている。

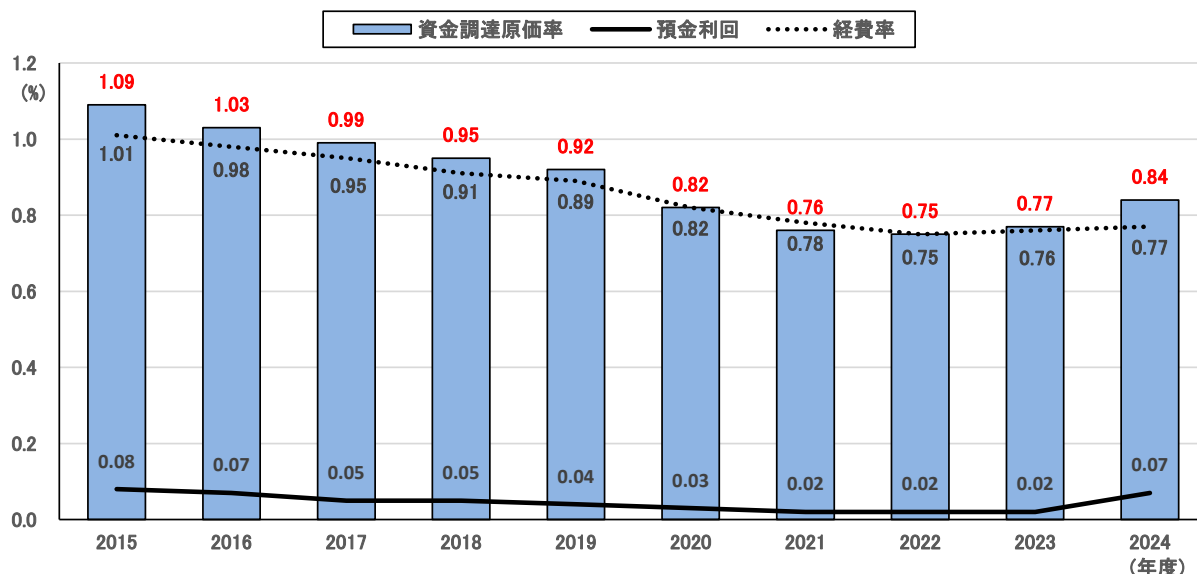
1. 資金調達原価率の状況

2024年度の全国信用金庫の資金調達原価率（（資金調達費用－金銭の信託運用見合費用＋経費）／資金調達勘定計（平残））は、前期比0.07ポイント上昇の0.84%となった。本稿では、資金調達原価率を構成する預金利回、経費率も踏まえて確認する。

過去10年間における推移をみると、経費率の低下を主因に資金調達原価率は低下傾向にあったが、2023年度以降、各比率ともに上昇に転じている。

なお、2024年度には、日銀による政策金利の引上げの影響等もあり、預金利回が大きく上昇している（図表1）。

(図表1) 資金調達原価率の状況



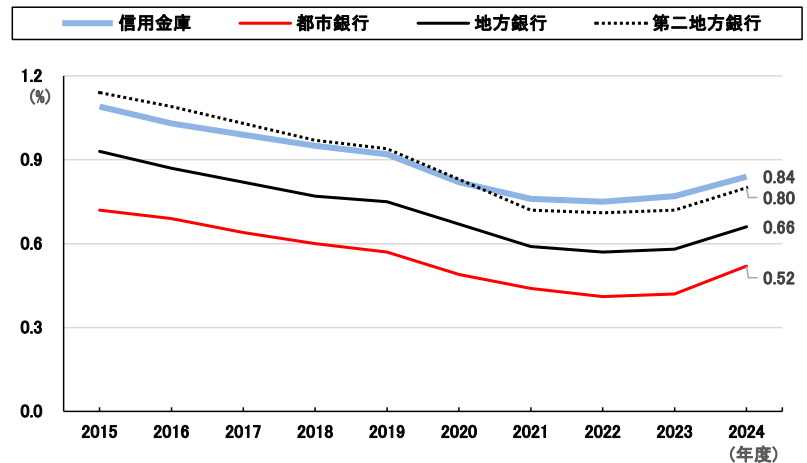
(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 他業態との比較

次に他業態と比較するため、過去 10 年間における資金調達原価率の推移を示す（図表 2）。

信用金庫の資金調達原価率は、都市銀行、地方銀行に比べ高くなっている。また、2021 年度以降は、第二地方銀行をやや上回って推移している。

（図表 2）他業態との比較



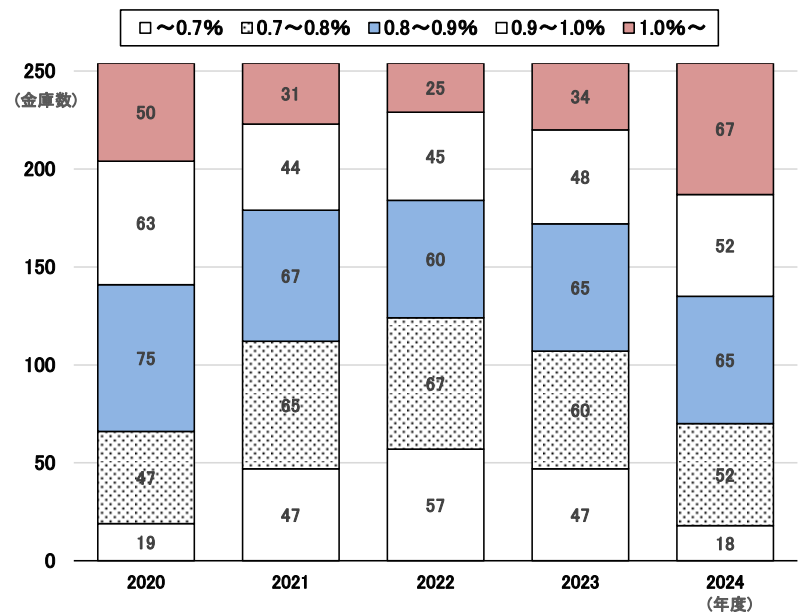
（備考） 1. 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成
2. 他業態は全国銀行協会「全国銀行財務諸表分析」より作成

3. 信用金庫別の状況

次に信用金庫別に、最近 5 年間の資金調達原価率の推移を示す（図表 3）。

2020 年度は 0.8% 以上～0.9% 未満の信用金庫数が最多であったが、その後、全体的に低下傾向にあった。しかしながら、2023 年度以降は、1.0% 以上の信用金庫数が増加するなど資金調達原価率は上昇傾向にある。また、資金調達原価率を 2 期間（2020 年度と 2024 年度）で比較したところ、上昇 249 金庫、低下 5 金庫となっており、上昇金庫が多い状況となっている。

（図表 3）信用金庫別の状況



（備考） 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

これまで全国信用金庫の資金調達原価率は低下傾向にあったが、政策金利引上げに伴う預金利回の上昇により、2024 年度は大きく上昇した。

今後、日銀はもう一段の利上げに踏み切るとみる向きもあり、預金利回はさらに上昇することが見込まれる。

以 上

※信用金庫業界の各種データは、信金中央金庫 地域・中小企業研究所ホームページの「信用金庫統計」(<https://www.scbri.jp/publication/toukei/>) に掲載されています。併せて、ご活用ください。

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。